

キトラ古墳の保存・活用に関する状況等について

1. 壁画の保存・活用について

(1) 壁画の取り外し状況について

平成16年8月より始まった壁画の取り外し作業は、平成22年11月には石室内の全ての壁画の取り外しを終了した。

壁画の取り外しを終えた石室は、現在、紫外線照射を行いながら、石室内の環境管理を実施している。



壁画取り外し作業の様子



紫外線灯を設置した石室内の様子

(2) 取り外した壁画の仮保存処置について

取り外した壁画は、国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設に搬送し、仮裏打ち等を実施して状態の安定化を図っている。

状態の安定した壁画については、奈良文化財研究所飛鳥資料館において平成18年度から順次公開を行った。平成22年度には四神の同時公開を行った。

(3) 壁画の本格的な保存処理

平成22年度からは、取り外した壁画片を再構成し、クリーニング等を施している。現在は天井天文図の再構成などの処置を進めている。

(4) 壁画の将来的な保存管理

壁画は、古墳現地の石室内で保存されることが基本であるが、現在の保存技術では生物被害が生じる可能性が高いため、キトラ古墳の壁画については、恒久的な保存を図る観点から、環境を制御しながら安全に保存管理することができるよう、当面の間、石室外の適切な施設で保存管理・公開することとした。

壁画を保存管理・公開する施設については、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区(平成28年度開園予定)に設置することを決定し、現在は、実施設計を進めている。



壁画保存管理施設内イメージ

2. 古墳の整備・活用について

平成23年度末までに、古墳の整備に関する基本方針・基本設計を策定した。

現在は、この基本設計に基づき、実施設計を進めている。



- 2 - 古墳整備イメージ